

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡崎校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 3日		2025年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりひとりの困りごとが異なるので、お子様の課題に合わせて支援プログラムを作成している。</li> <li>・自己決定を促すために、年に一度誕生日月には自身が取り組みたい課題を決める「お楽しみプログラム」を実施している。</li> </ul>	お子様の成長に応じて担当者の変更を行ったり、小集団支援を行うなど、状況が変わっても対応できる力を育むための支援内容を検討していく。
2	学校・医療機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校等、集団生活の場でどのように過ごしているか。また、どんなことに困っているかを圖と情報共有する場を設けている。</li> </ul>	一部の学校に訪問し普段の様子を見学することが出来た。引き続き学校と連携し情報の共有を行っていく。通院している医療機関とも連携しどのような支援が必要か、情報の共有を行っていく。
3	保護者向けイベントの実施	小学生以上の保護者を対象に、「通信制高校の勉強会」を行った。公立・私立高校との違いを通信制高校の先生を講師として迎え、制度や取り組みについて勉強会を実施した。	今後も外部講師を迎え、保護者向けのイベントを企画、実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援室の上部が開放されているため、隣室の音が聞こえてしまう	集中して課題に取り組みたい時間に気が散ってしまう場面も見られるが、支援室の構造上変えることができない。虐待防止の観点からも塞ぐことが難しい。	状況や、課題に応じて使用する部屋を変更するなど臨機応変に対応していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」岡崎校

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数 51

回収数 49

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	47	2	0	0	・個室に区切られていていいと思う。 ・限られたスペースでも体を使った活動 をとりわけてくれてありがたい。 ・身体を動かす活動が出来る広さがあ り、大変ありがたい。	引き続き安全を確保しつつ、いろいろな 活動が出来るように工夫して参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	41	4	0	4	・12月から職員が減ってしまい、また 補充があるならいいが今のままでは少な いと思う。	職員の異動に伴い、職員数が減少し、ご 迷惑をおかけしております。早急に人員 の補充を行ってまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	48	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	49	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	47	1	0	1	・学校や他に利用している放デイでは難 しい個別ならではのオーダーメイドの対 応をしていただけるのが嬉しいし安心感 がある。	引き続き安心してご利用いただけるよ う、お子様の特性に合った支援の提供を 行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	47	1	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	47	1	0	1	・個別支援計画の変更時期のみならず、 気がかりなことが出来た時に相談できる （相談しやすい）のが助かる。	お子様の変化を共有いただきありがと うございます。気がかりなことがある場合 はお気軽に声を掛けください。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	47	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	47	1	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	33	1	10	5	・個別支援を求めているので不要。 ・子の事業所には必要ないと思う。 ・特に望んでいないためこのままで良 い。 ・必要だと思わない。	地域のお子様と活動する機会が生じた場 合はご相談させていただきます。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	49	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	49	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	33	3	1	12	・行われていないが、それほど必要性を 感じていない。	保護者様に情報提供の機会として、保護 者様向けイベントの企画して参ります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていますか。	47	1	0	1	・入口で立ち話をさせてもらっている が、相談時間を設けるかと聞かれるの で、自分の中では軽い報告・相談のつも りだが、良く思われていないかなと悩ん でいる。	いつもお子様についての情報共有をあり がとうございます。保護者様のお悩みに ついて立ち話で済ませていいものか判断 に悩んだ時や、相談したい時に話を 伺うタイミングを逃さないよう、個別相 談のご案内させて頂いております。特に 必要性がない場合はお断り頂いて大丈夫 です。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	2	0	2		

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	3	10	12	・必要ないと思っている。 ・保護者同士の交流が出来る機会があればありがたいが、個別支援なので他のお子さんの様子が分からないので顔を合わせても交流は難しいと思う。	必要に応じて企画開催をしていきたいと考えております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	4	0	1	・話を聞く姿勢でいて下さったけれど、先生から積極的な意見が欲しかった。人によるとは思うが、自分は提案をたくさんしてほしいと思った。 ・以前要望を伝えてから気まずい気持ちがあり、何度もは言いにくい。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	45	3	0	1		
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	42	2	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	47	1	0	1		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	42	2	1	4	・マニュアルは掲示されているので知っている。 ・短時間なのであまり必要性を感じない。
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45	0	1	3	・短時間なのであまり必要性を感じない。	万が一のことを想定し引き続き研修・訓練を行ってまいります。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38	3	0	8		
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	12	0	8	・経験がないのでわからない	今後も事故が無いよう注意して運営してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	48	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	47	1	0	1	・毎回「大変だよ～」と言いつつも、「行きたく無い」と渋ったことは一度もなく、リラックスした様子で通っている。 ・楽しいとは思っていないかもしれないが、嫌がってもない。	お子様に楽しく通所いただけるよう、今後も努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	48	1	0	0	・もう少し長い時間やっていただけると、ありがたい。 ・学習面で、塾では受け入れてもらえない(または支援できない)専門的な支援をこちらの事業所には求めているので、勉強を教える場(塾的なもの)ではないという事を強調されると、学習支援について要望が言いにくい。 ・もう少し長い時間やっていただけると、ありがたい。 ・学習面で、塾では受け入れてもらえない(または支援できない)専門的な支援をこちらの事業所には求めているので、勉強を教える場(塾的なもの)ではないという事を強調されると、学習支援について要望が言いにくい。 ・もう少し長い時間やっていただけると、ありがたい。 ・学習面で、塾では受け入れてもらえない(または支援できない)専門的な支援をこちらの事業所には求めているので、勉強を教える場(塾的なもの)ではないという事を強調されると、学習支援について要望が言いにくい。	現時点では利用者様のスケジュールが固定されている都合上、長時間の支援を組み込むことが出来ずご迷惑をおかけしております。調整を試みているところではございますが、実現できていない現状です。引き続き、他に方法が無いかを模索しながら検討して参ります。 「きらり」岡崎校では、学習に取り組む習慣づくりや、学ぶことの楽しさをお伝えすることを大切にしながら支援を行っております。2024年度より、5領域（健康・生活、運動、認知・行動、言語・コミュニケーション、社会性）のすべてに関わる支援を行うこととなり、学習面のみに特化した支援を提供することが難しくなりました。そのため、「勉強を教える場ではない」というご説明をさせていただいております。この件につきまして、保護者様にご不安なお気持ちを抱かせてしまいましたこと、心よりお詫び申し上げます。今後は、より一層ご相談いただきやすい環境づくりに努め、保護者様に安心して通所いただける事業所となるよう、職員一同取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」岡崎校			公表日		2026年 2月 14日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		法令順守に則りスペースを確保しています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		定員や利用者様の状況に応じて、担当者の変更を行い対応させていただきます。	新規開校に伴い、職員の異動があったためご迷惑をおかけしております。早急に人員の補充をいたします。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		トイレ、洗面台以外バリアフリー化となっております。事務所の入口に段差があるため事務所に入る前に注意をするよう声掛けを行っています。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		心地よく過ごしていただけるよう、清掃、整理整頓を行い、壁面にも季節の飾りを施し季節を感じていただけるように努めています。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		課題や状況に応じて使用する支援室を変えることが出来るように調整しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		職員全員が参加できるよう、全員が出勤する水曜日に職員会議を設け話し合いを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		いただいた評価表を職員会議で共有し、業務改善に努めます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		月1回以上の職員会議を行い、業務改善に向けて取り組んでいます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		第三者評価を行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		社内研修に加え、外部の研修にも参加する機会を確保しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		HPにて支援プログラムを公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		課題やニーズを踏まえ支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		支援に関わる職員と共通理解の下、検討を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				計画に沿って支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		統一したアセスメントシートを使用し、お子様の状況を確認しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		ガイドラインに沿って支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		複数職員で活動プログラムを考えています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	その時の状況に応じ、臨機応変に対応できるような内容は複数用意するなど工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別支援が基本ですが、状況に応じて小集団での活動を取り入れるなどして支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎日打ち合わせを行い、その日の利用者様についての確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	適宜振り返り、打ち合わせを行い共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎回支援記録を取り、支援の改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを行い内容の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	ガイドラインに沿って支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○	お子さんが支援の内容を決める取り組みを行い、自己決定する力を育てる機会を取り入れています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者をはじめ、お子さんに関わる職員が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	医療体制について、協力医療機関の変更を行い、より連携して対応をして参ります。	地域の教育関係との連携を進めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校との情報共有を行い、必要に応じて連携をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談支援事業所を通じて情報の共有を行っています。	必要に応じて随時情報の共有を行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	今まで特に要望はありませんが、必要に応じて支援内容の情報共有を提供できる体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて検討して参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	お子様にあった取り組みやイベントがある際は、個別にご案内しています。	利用者が個別支援を希望されているため、交流する機会を設けていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援終了後にフィードバックの時間を設け、課題や発達の状況について共有し共通理解をしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	普段のフィードバック時や、個別相談等で情報の提供を行い、サポートしています。	ペアレント・トレーニングとしての研修は行っていません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	ご契約時に説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	モニタリングを通じてご要望やご意向を確認しサービスの提供を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	計画を確認しながら支援についての説明を行い同意をいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談と助言を行っています。	出来るだけゆっくりお話を伺えるよう、家族支援のご案内をしていますが、気軽にご相談いただける環境を整えてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		保護者向けイベントを行い、同じ悩みを持つ保護者同士で交流する機会を企画し、「通信制高校に関する勉強会」を行いました。今後も新たなイベントを企画して参ります。	父母の会の活動支援は行っていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram、HP内にブログを掲載し、保護者様に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠保管を行い取り扱いに留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的にも分かりやすく、情報伝達出来るように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		イベントを行っていないため、地域住民の招待等は行っていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは策定し、訓練を行っています。訓練の様子をSNSにて発信し周知を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時、毎回のご利用開始前に、お子様の状況について詳しく伺い、確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食品の提供はしていないため特に対応する機会はありますが、ミニイベント等でお菓子を配布する場合は保護者様に情報共有しお菓子の取り扱いに注意して頂いています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		待合室にて掲示し周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員全員が閲覧できるようにしています。また、再発防止について話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の機会を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画に記載し、説明の際に保護者様より同意をいただいています。		